

# 令和 6 年度事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日)

令和 7 年 5 月 1 6 日 (金)

公益財団法人 D N P 文化振興財団

# 令和 6 年度事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで)

## 1 アーカイブ関連事業

### (1) 田中一光アーカイブ

|                 |         |
|-----------------|---------|
| ①本人作品ポスター       | 2,753点  |
| 版画              | 258点    |
| エディトリアル         | 2,275点  |
| 原画類             | 3,542点  |
| その他 (パンフ/V.I.等) | 2,912点  |
| ②資料写真           | 28,004点 |
| その他資料類          | 2,417点  |
| ③他作家作品ポスター・版画等  | 1,137点  |
| その他             | 183点    |
| ④蔵書             | 12,165点 |

### (2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

|               |        |
|---------------|--------|
| ①本人作品ポスター     | 1,576点 |
| 版画            | 178点   |
| 原画類           | 979点   |
| その他 (クラフト作品等) | 530点   |
| ②資料 書籍等       | 597点   |
| ③他作家作品ポスター・版画 | 2,571点 |

### (3) 永井一正作品アーカイブ

|                |        |
|----------------|--------|
| ①本人作品ポスター      | 979点   |
| 版画             | 331点   |
| エディトリアル        | 1,265点 |
| 原画類            | 799点   |
| その他 (V.I.等)    | 741点   |
| ②資料 作品ポジ       | 647点   |
| その他資料類         | 2,176点 |
| ③他作家作品ポスター・版画等 | 152点   |
| その他 (蔵書等)      | 71点    |

(4) ポスターアーカイブ (令和7年3月末現在)

- 1 収蔵作家：246名 (国内作家126名 海外作家120名)
- 2 総点数：18,428点
- 3 令和6年度の受入れ：なし

(5) アーカイブ作品の寄贈

① ポズナン国立美術館 (ポーランド)

時期：令和6年5月

概要：ギンザ・グラフィック・ギャラリー展覧会ポスター63点、『gggBooks』等8冊寄贈

② メキシコ国際ポスタービエンナーレ

時期：令和6年9月

概要：永井一正作品34点寄贈

③ ポズナン国立美術館 (ポーランド)

時期：令和6年12月

概要：石岡瑛子ポスター84点寄贈

## 2 展示関連事業

(1) ギンザ・グラフィック・ギャラリー (ggg) の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル 1 階、地下 1 階

日曜・祝日休館、開館時間：午前 11:00～午後 7:00、入場無料

■第 401 回 TDC 2024

会 期：2024 年 4 月 1 日 (月)～5 月 15 日 (水)

入場者：12,142 人、一日平均 347 人

東京タイプディレクターズクラブが主催する、グラフィックデザインの国際コンペティション展です。令和6年に34回目を迎えました。今回は、国内外からの応募 3,675 作品から選ばれた受賞作品とノミネート作品、合計約 130 作品を展示しました。ゴールデンウィークをまたいでの開催となり、計 12,000 名以上の来場者を集めました。

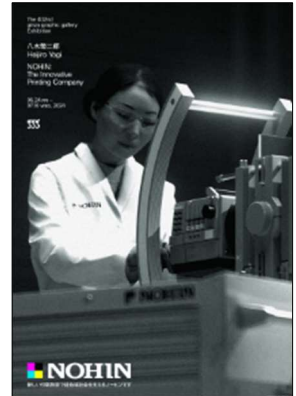


■第 402 回 八木幣二郎 NOHIN: The Innovative Printing Company

会 期： 2024 年 5 月 24 日（金）～7 月 10 日（水）

入場者： 6,591 人、一日平均 160 人

1999 年生まれの若いアートディレクター、八木幣二郎氏の個展を開催しました。架空の印刷会社「NOHIN 社」の CI デザイン、社史等の資料を展示するというコンセプトで会場を構成しました。地階では、日本のグラフィックデザイン史を彩る巨匠 10 名のポスターを、3DCG で再解釈した新作を展示しました。



■特別展 2024 JAGDA 亀倉雄策賞・新人賞展

会 期： 2024 年 7 月 22 日（月）～8 月 24 日（土）

入場者： 6,669 人、一日平均 230 人

公益社団法人日本グラフィックデザイン協会（JAGDA）が主催する「亀倉雄策賞」と「JAGDA 新人賞」の受賞作品展です。従来、会場だったクリエイションギャラリーG8の閉館により、ギンザ・グラフィック・ギャラリーでの開催となりました。ギャラリー1階では、亀倉雄策賞を受賞した北川一成氏の展示、地階では新人賞を受賞した岡崎真理子氏、坂本俊太氏、山口崇多氏の作品を紹介しました。

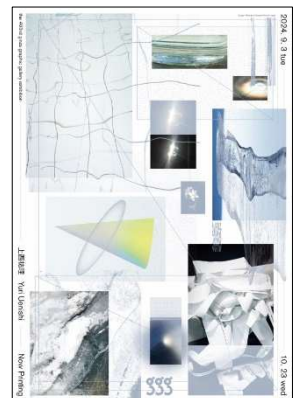


■第 403 回 上西祐理 Now Printing

会 期： 2024 年 9 月 3 日（火）～10 月 23 日（水）

入場者： 8,509 人、一日平均 207 人

「世界卓球 2015」ポスターや「Visualized Fencing. Yuki Ota Fencing Championships 2014」等、力強いヴィジュアルが印象的なグラフィックデザイナー、上西祐理氏の個展を開催しました。1 階では、作家自身が撮影した写真を素材とした印刷物の新作、地階では、過去の仕事のアーカイブを展示しました。比較的若い世代のデザイン関係者、学生の来場者の姿が目立ちました。

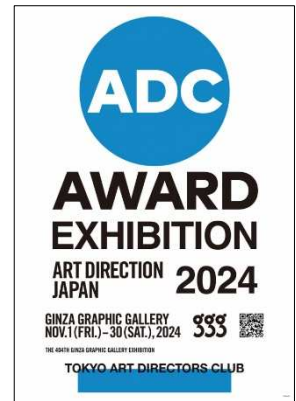


■第404回 日本のアートディレクション展 2024

会 期：2024年11月1日（金）～11月30日（土）

入場者：6,765人、一日平均282人

毎年恒例の東京アートディレクターズクラブ（ADC）年次公募展です。今年も、約6,000点の応募作の中から選ばれた受賞作品、優秀作品を展示しました。ADC賞は、日本の広告・グラフィックデザインの先端の動向を反映する賞として、国内外の注目を集めています。最終日は1,000人以上の来場者がありました。



■第405回 菊地敦己 グラフィックデザインのある空間

会 期：2024年12月10日（火）～2025年2月1日（土）

入場者：7,945人、一日平均215人

アートディレクター、グラフィックデザイナーの菊地敦己氏の個展です。菊地氏は、美術館のVIやサイン計画、ファッションブランドのアートディレクションや、実験的な自主制作作品による展覧会を開催する等、多面的な表現活動を行なっています。展覧会では、空間の中のグラフィックをテーマに、「平面上の空間」と「空間上の平面」との関係性を探る3つのインスタレーションを展開しました。



■第406回 書藝問道 ブックデザイナー 呂敬人の軌跡

会 期：2025年2月12日（水）～3月27日（木）

入場者：4,600人、一日平均128人

中国ブックデザインのパイオニア、呂敬人氏の仕事を、日本で体系的に紹介する初めての展覧会です。1階では、『朱熹榜書千字文』、『絵図五百羅漢詳解』などの豪華本8点、地階では、中国の芸術文化や生活文化に関する27点の書籍を、作家自身による解説とともに展示しました。また、2階ライブラリでは、来場者が手にとって楽しめる作品集や自著などを展示しました。



## (2) 京都 d d d ギャラリー (d d d) の展示

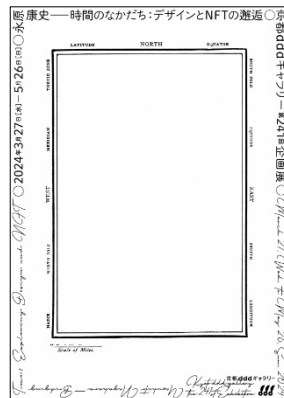
〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 620 COCON 烏丸 3F  
月曜・祝日の翌日休館、開館時間：午前 11：00～午後 7：00、入場無料

### ■第 241 回 永原康史—時間のなかたち：デザインと NFT の邂逅

会 期：2024 年 3 月 27 日（水）～5 月 26 日（日）

入場者：3,641 人、一日平均 69 人

Macintosh が日本に最初に紹介された 1984 年から、いち早くコンピューターを使ったデザインに取り組んできた、我が国のメディアデザインの先駆者のひとり、永原康史氏の回顧展です。40 年以上にわたる永原氏の仕事から、一連の電子ブックやアルゴリズム・タイポグラフィの代表作を紹介しました。あわせて、NFT を使ったメディアとデザインの未来を予感させる新作も展示しました。



### ■第 242 回 フォリオ フォリオ フォリオ：プリント バイ ヴェロニカ・ディッティング

会 期：2024 年 6 月 8 日（土）～7 月 28 日（日）

入場者：3,518 人、一日平均 80 人

ロンドンを拠点に国際的に活躍する女性グラフィックデザイナー、ヴェロニカ・ディッティング氏の日本初の展覧会です。デザイン史研究者エミリー・キング氏をゲスト・キュレーターに迎え、エルメス等のハイブランドとの仕事や、『ザ・ジェントルウーマン』誌のエディトリアル等の代表作を紹介しました。ファッション業界からの注目度が高く、ddd の認知度の向上に寄与しました。



### ■第 243 回 立平面社 ～手と脳のあそびの不思議～

会 期：2024 年 8 月 7 日（水）～10 月 14 日（月）

入場者：4,344 人、一日平均 74 人

地方で活躍するグラフィックデザイナーを取り上げるグループ展です。今回は、広島で、アートディレクター松井桂三氏を中心に集まった、嵐川真次氏、木村幸司氏、広本理絵氏、柚木陽子氏、吉本加織氏の 6 名のデザイナーのグループ「立平面社」を紹介しました。普段のクライアント作品ではなく、それぞれの自主制作による実験的な作品群を展示しました。

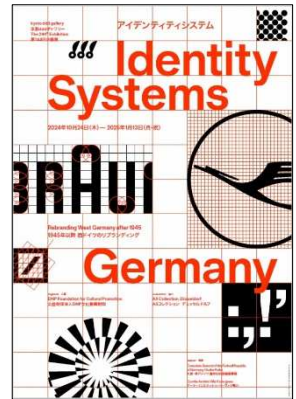


■第 244 回 アイデンティティシステム 1945 年以降 西ドイツのリブランディング

会 期： 2024 年 10 月 24 日（木）～2025 年 1 月 13 日（月）

入場者： 6,208 人、一日平均 94 人

戦後ドイツのグラフィックデザインを紹介する展覧会です。デザイン・アーカイブ A5 コレクション・デュッセルドルフを主宰するデザイン史研究者、イエンス・ミュラー氏のコレクションから、ミュンヘン五輪、ルフトハンザ航空、ブラウン社等、戦後の西ドイツの企業やイベントのアイデンティティシステムに関わる貴重な一次資料を展示しました。SNS 上での注目も高く、最終的に、ddd における歴代最多の来場者を集めました。

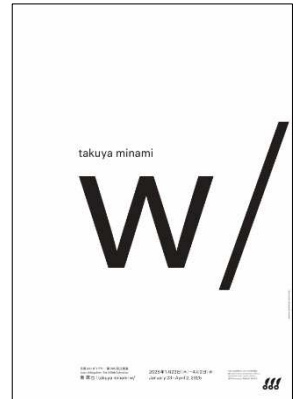


■第 245 回 南塚也 takuya minami w/

会 期： 2025 年 1 月 23 日（木）～4 月 2 日（水）

入場者： 4,421 人、一日平均 78 人

京都を拠点に活躍するグラフィックデザイナー、南塚也氏の個展です。日本を代表するアーティスト集団、ダムタイプ関連のポスターをはじめ、池田亮司氏、坂本龍一氏、高谷史郎氏らアーティストたちのために制作したブックデザインを展示しました。南氏自身が、ダムタイプのメンバーであり、また同時期に東京都現代美術館で開催していた坂本龍一展のデザインを担当していることもあって、SNS 上で注目を集めました。



### 3 教育・普及関連事業

#### (1) ギャラリートーク（セミナー）

ギャラリーでのトークイベント開催の他、YouTube で作家トークや解説動画等、注目クリエイターたちによる対談の音声コンテンツを配信しました。

#### ギンザ・グラフィック・ギャラリー（g g g）

- 「八木幣二郎 NOHIN」ギャラリートーク  
出演：八木幣二郎氏、菊地敦己氏
- 「八木幣二郎 NOHIN」トークイベント『会見』  
出演：八木幣二郎氏、竹久直樹氏、中村陽道氏、室賀清徳氏
- 「2024 JAGDA 亀倉雄策賞・新人賞展」トークイベント  
亀倉雄策賞展 出演：北川一成氏、高須光聖氏  
新人賞展 出演：岡崎真理子氏、坂本俊太氏、山口崇多氏、葛西 薫氏  
新人賞展ギャラリーツアー 出演：岡崎真理子氏、坂本俊太氏、山口崇多氏
- 「上西祐理 Now Printing」ギャラリートーク  
第1回 出演：上西祐理氏、服部一成氏  
第2回 出演：上西祐理氏、佐々木俊氏、牧寿次郎氏、村上雅士氏  
第3回 出演：上西祐理氏、山本亮介氏、尾澤あずさ氏
- 「日本のアートディレクション展 2024」ギャラリートーク  
出演：岡崎智弘氏、菊地敦己氏
- 「菊地敦己 グラフィックデザインのある空間」ギャラリートーク  
第1回 出演：菊地敦己氏  
第2回 出演：菊地敦己氏、浅子佳英氏
- 「書藝問道 ブックデザイナー 呂敬人の軌跡」ギャラリートーク  
出演：呂敬人氏、佐藤篤司氏、室賀清徳氏



## 京都d d dギャラリー（d d d）

- 「永原康史」展トークイベント  
出演：永原康史氏、高尾俊介氏
- 「フォリオ フォリオ フォリオ」展トークイベント  
出演：ヴェロニカ・ディッティング氏、エミリー・キング氏
- 「立平面社」展トークイベント  
出演：立平面社
- 「アイデンティティシステム」展記念講演会  
会場：西宮市大谷記念美術館 講師：イエンス・ミュラー氏
- 「南塚也」トークイベント  
第1回 出演：南塚也氏、見増勇介氏  
第2回 出演：南塚也氏、藤本由紀夫氏、高谷史郎氏、見増勇介氏



## （2）YouTube 音声対談企画

- 中川学氏×泉屋宏樹氏
- 松田行正氏×宮後優子氏
- 内沼晋太郎氏×綾女欣伸氏
- 見増勇介氏×長岡綾子氏



## （3）オンライン記事企画「デザインの両面」

- 加藤賢策氏
- 上西祐理氏



## （4）京都d d dギャラリー京都移転10周年記念ワークショップ

京都d d dギャラリー京都移転10周年を記念して、デザインワークショップを開催しました。

- 第1回 製本 講師：宮後優子氏
- 第2回 コラージュ制作 講師：伊藤桂司氏
- 第3回 ポストカード制作 講師：中川学氏、泉屋宏樹氏



### (3) 図録等の発行と頒布

令和6年度は以下の4点を発行しました。

#### ggg Books

- 『ggg Books 137 八木幣二郎』  
1999年生まれのアートディレクター、八木幣二郎氏の仕事を、幅広く紹介。  
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）
- 『ggg Books 138 上西祐理』  
近年注目を集めるアートディレクター、グラフィックデザイナー、上西祐理氏の代表作を紹介。  
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）
- 『ggg Books 139 菊地敦己』  
青森県立美術館をはじめとする、VI、サイン計画、エディトリアルデザイン等の代表的な仕事を紹介。  
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）
- 『ggg Books 140 呂敬人』  
現代中国のブックデザインの開拓者、呂敬人氏が手掛けた豪華書籍の数々を紹介。  
19×13.5 cm、64 ページ、価格：1,282 円（税込）



### (4) アニュアルレポート

令和5年4月から令和6年3月までの活動をまとめたアニュアルレポート『Graphic Art & Design Annual 2023』を発行しました。

表紙デザイン：ヨシロットン氏

序文：田中一光氏「デザインと出会いの空間」（再録）

A4 変型判、88 ページ、非売品



## 4 国際交流関連事業

### (1) A G I (国際グラフィック連盟) 日本会員事務局サポート

A G I 総会が、2024 年 9 月 29 日から 10 月 5 日まで、スイス・バーゼルで開催され、財団は日本会員事務局として参加しました。今回、日本会員は色部義昭氏、林規章氏が参加しました。



### (2) メキシコ「国際ポスタービエンナーレ」に協力

第 18 回メキシコ国際ポスタービエンナーレが、2024 年 10 月 28 日から 12 月 14 日まで、開催されました。財団は、永井一正氏の作品「LIFE」シリーズの近作 34 点の寄贈と、開幕式で上映された永井氏のビデオメッセージ制作に協力しました。



### (3) ベルリン「福田繁雄 Journey to the West」展に協力

福田繁雄氏の個展が、2024 年 4 月 5 日から 6 月 7 日まで、ベルリン視覚芸術センター（The Center for Visual Arts, Berlin）で開催されました。財団の福田繁雄アーカイブから、ポスター約 100 点を出品協力しました。



## 5 研究助成関連事業

### (1) 2024年 グラフィック文化に関する学術研究助成

令和6年度は下記の要領で実施し、新規採択10件、継続助成11件、計10,460,000円の助成金を交付しました。

募集テーマ： A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

募集期間： 令和6年4月1日～6月17日

助成対象： 研究機関に在籍する研究者・大学院生・学芸員等及びそれに準じる研究能力のある者。

応募数： 61件

(A部門 国内38件・海外5件／B部門 国内17件・海外1件)

選考： 7月～9月 一次審査(申請書類による書類審査)

9月25日 二次審査(DNP銀座ビルにて)

採択研究： 新規採択10件(助成総額498万円)

継続助成11件(助成総額548万円)

詳細は次頁参照

審査委員： 井口 寿乃 埼玉大学名誉教授

加治屋 健司 東京大学大学院教授

菊池 裕子 ヴィクトリア&アルバート博物館 学術部長

建畠 哲 埼玉県立近代美術館館長

永原 康史 グラフィックデザイナー

並木 誠士 京都工芸繊維大学特定教授、京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長

前田 富士男 慶應義塾大学名誉教授

※五十音順、敬称略、令和7年3月末時点



●令和 6 年度採択研究（10 件）

| No. | 部門 | 研究テーマ                                                           | 研究者                                                     | 1 年目助成額   | 継続 |
|-----|----|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-----------|----|
| 1   | A  | 1960 年代から 1980 年代のコンセプチュアル・アーティストが制作したアーティスト・ブックの動向研究           | 長島 聡子<br>大邱大学校 助教授                                      | 500,000 円 | ○  |
| 2   | A  | 冷戦下のイタリアにおける「赤いバウハウス」ーハennes・マイヤー、アルベ・スタイナー、ガブリエル・ムッキ：親交とデザイン交流 | キアラ・バルビエリ<br>ローザンヌ州立美術大学 研究員／科学共同研究者                    | 500,000 円 |    |
| 3   | A  | エリザベス・トマリンにみるレジリエンスの表象：グラフィックデザインからアートセラピーへの領域横断的実践             | 菅 靖子<br>津田塾大学 教授                                        | 500,000 円 | ○  |
| 4   | A  | ゲーテ『光学論考』（1791 年）におけるグラフィック教材を用いた色彩学習の構想と再現                     | 山根 千明<br>慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート 共同研究員                | 500,000 円 | ○  |
| 5   | A  | 1966 年から 1972 年にかけての矢頭保写真集の視覚的・文字的分析                            | ムニョス シレス ガストン フアン アリウエン<br>早稲田大学 大学院国際コミュニケーション研究科 博士課程 | 480,000 円 | ○  |
| 6   | A  | 富山妙子《ハルビン・21 世紀へのレクイエム》(1995)に描かれた戦争、トラウマ、祈り                    | 清水 冴<br>インディペンデント・キュレーター                                | 500,000 円 | ○  |
| 7   | A  | 古琴の演奏方法継承のためのメタバース活用ー浦上玉堂の減字譜を中心にー                              | 石田 友梨<br>岡山大学 准教授（特任）                                   | 500,000 円 |    |
| 8   | A  | 線描から色面構成へ：山名文夫の戦後のデザインワークー「都民劇場公演パンフレット」を巡って                    | 野澤 広紀<br>群馬県立館林美術館 学芸員（副主幹）                             | 500,000 円 |    |
| 9   | B  | 写真におけるプライバシー：18～19 世紀の植民地インドにおける英国人の知られざる生活を見る                  | ディーパリ・ヤダフ<br>バナラス・ヒンドゥ大学 助教授                            | 500,000 円 |    |
| 10  | B  | 点字制定以前における視覚障害者用文字に関する資料の調査：電子化とデータベース作成による公開の試み                | 飯塚 希世<br>お茶の水女子大学 図書・情報課 事務補佐員                          | 500,000 円 | ○  |

令和 6 年度新規採択研究 助成金交付額 4,980,000 円

●令和5年度採択研究継続助成（11件）

| No. | 部門 | 研究テーマ                                                            | 研究者                                     | 交付額<br>下段は昨年度交付額         |
|-----|----|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|--------------------------|
| 1   | A  | 境界科学の視覚文化論：グローバル・ヒストリーとしての念写                                     | ハンスン・ショーン<br>ダラム大学 准教授                  | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 2   | A  | ロマ民族（ジプシー）のシンボル学                                                 | 角 悠介<br>神戸市外国語大学 客員研究員                  | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 3   | A  | 木版画を媒体とした現代美術の実践：インドネシア・マレーシアを事例として                              | 廣田 緑<br>国際ファッション専門職大学 准教授               | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 4   | A  | デジタル時代における楽譜印刷と音楽文化の相互的影響関係に関する研究                                | 関 慎太郎<br>理化学研究所 学振特別研究員 PD              | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 5   | A  | 小川一真が結んだ人と国：明治期における写真での日英交流                                      | 清水 由布紀<br>津田塾大学 非常勤講師                   | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 6   | A  | 近代日本における「ブツ撮り」写真—1920年代から60年代を中心に                                | 芦高 郁子<br>滋賀県立美術館 学芸員                    | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 7   | A  | 南アジアおよび東南アジアのグラフィック文化におけるラーマーヤナ                                  | アナンディ・ラオ<br>ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院 南アジア研究所講師 | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 8   | B  | 中国と日本に現存する中国イスラームの絵画・書道・ポスターの調査：目録とアーカイブの構築を目指して                 | 海野 典子<br>大阪大学人文学研究科 助教                  | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 9   | B  | 泰山製陶所のデジタルアーカイブズの構築                                              | 坂口 英伸<br>無所属                            | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 10  | B  | 1930-40年代における猪熊弦一郎の雑誌表紙絵に関する調査研究とデジタルアーカイブ公開                     | 吉澤 博之<br>丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸課 レジストラー       | 500,000 円<br>(500,000 円) |
| 11  | B  | 東アジアのタイポグラフィ：2000年から現在までの傾向について—国際タイポグラフィビエンナーレ Typojanchi を通して— | 徐 慧<br>滋賀県立大学 人間文化学部 生活デザイン学科 専任講師      | 480,000 円<br>(470,000 円) |

令和5年度からの継続助成 助成金交付額合計 5,480,000 円

合計 10,460,000 円

(2) 令和6年度協賛助成実績 (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

|   | 対象             | 主催          | 年月     | 金額       | 備考                                                     |
|---|----------------|-------------|--------|----------|--------------------------------------------------------|
| 1 | 第35回田善顕彰版画展へ協賛 | 須賀川商工会議所青年部 | 2025/2 | 50,000 円 | 須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善顕彰を目的とする、須賀川市内小中学生対象の版画コンクール。例年継続。 |

(3) 会員参加

当財団は、以下の団体の会員となっています。

1. 東京イラストレーターズ・ソサイエティ / 賛助会員
2. 東京アートディレクターズクラブ / 賛助会員
3. 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 / 賛助会員
4. 東京タイプディレクターズクラブ / 法人・団体会員
5. 公益財団法人助成財団センター / 会員
6. 東京アート&ライブ構想実行委員会 / 会員

## 6 会議の開催

### ●第5回評議員選定委員会

(令和6年4月30日)

評議員選定委員会決議の省略の方法による（評議員選定委員会の運営細則第8条）  
提案 評議員候補者10名の選任について

### ●第40回理事会

(令和6年5月23日)

理事会決議の省略の方法による（定款第37条第2項）  
提案（1） 令和5年度事業報告および計算書類等の承認について  
提案（2） 定時評議員会の招集について

### ●第17回 評議員会

(令和6年6月10日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1  
およびオンライン会議システム（Teams）  
第1号議案 議長の選任について（決議事項）  
第2号議案 議事録署名人の選出について（決議事項）  
第3号議案 令和5年度事業報告について（報告事項）  
第4号議案 令和5年度計算書類等について（決議事項）  
第5号議案 任期満了に伴う理事および監事の選任について（決議事項）

### ●第41回 理事会

(令和6年6月10日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1  
およびオンライン会議システム（Teams）  
第1号議案 理事長および専務理事の選定について（決議事項）  
第2号議案 令和5年度利益相反取引の承認について（決議事項）  
第3号議案 理事長および専務理事の業務執行状況について（報告事項）

### ●第42回理事会

(令和7年3月11日)

DNP市谷加賀町ビル 17階 会議室 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1  
第1号議案 令和7年度 寄付金の受入について  
第2号議案 令和7年度 事業計画、予算計画について（決議事項）  
第3号議案 令和7年度 利益相反取引の承認について（決議事項）  
第4号議案 令和7年度 資金調達および設備投資の見込みについて（決議事項）  
第5号議案 研究助成プログラムの助成金交付について（決議事項）  
第6号議案 令和7年度 協賛計画について（決議事項）  
第7号議案 理事長および専務理事の業務執行状況について（報告事項）

以上